

## プレスリリース

2016年4月11日

### クレディ・スイス、2016年版「グローバル・インベストメント・リターンズ・ イヤーブック」を発行

クレディ・スイスはこの度、2016年版「クレディ・スイス・グローバル・インベストメント・リターンズ・イヤーブック」および「クレディ・スイス・グローバル・インベストメント・リターンズ・ソースブック」を発行いたしました。

2016年版イヤーブックおよびソースブックは、クレディ・スイス・リサーチ・インスティテュートがロンドン・ビジネス・スクールとの協力により発行したもので、1900年からのデータに基づき、世界21カ国における株式・債券市場の長期リターンに関する最新のデータとリスクプレミアムの推定値について報告しています。当資料では、12の金融資産（株式、債券、リスクプレミアム、スマートベータ）と12の業界、および12の実物資産（金、不動産、美術品）の金利感応度をカバーしています。当イヤーブックによると、金利下降時より金利上昇時の方が、実質的には全ての資産価値が悪化していることがわかりました。

当イヤーブック内の日本についての項目では、日本の先物取引市場や証券取引所設立の由来と意義、第二次世界大戦期やその後の経済復興期、バブル期、バブル崩壊後の日本市場について触れ、現在もハイテク、自動車、電子、機械、ロボット技術が主要産業として世界をリードし、日本の株式市場における主要銘柄になっている点などが紹介されています。

日本の資本市場のリターンについて、1900年を基準とすると2015年の累計実質リターンは、途中第2次世界大戦での敗戦により壊滅的な被害を受け、債券が0.4倍、短期国債が0.1倍になったのに対し株式は戦後の奇跡的な経済成長の恩恵を受け118倍に成長したことを示した、116年間の推移のグラフも掲載しています。

当イヤーブック全文（英語）は下記よりご覧いただけます。

<http://publications.credit-suisse.com/tasks/render/file/index.cfm?fileid=AE3E00B9-91E2-D1FA-6C18765D3A968D73>

#### ■本件に関するお問い合わせ先

クレアブ株式会社（クレディ・スイス広報代理） 電話：03-5404-0640

#### ■クレディ・スイスについて

クレディ・スイスは、世界有数の金融機関として、プライベート・バンキング、インベストメント・バンキング、アセット・マネジメント事業を世界中で展開しています。アドバイザリー・サービス、包括的なソリューション、革新的な商品を、世界中の法人および富裕層個人顧客、またスイス国内の一般個人顧客に提供しています。クレディ・スイスは、世界50ヶ国以上に拠点を持ち、約48,200人の従業員を有しています。クレディ・スイスの本拠地はチューリッヒで、世界各地にある複数の事業法人で構成されています。親会社クレディ・スイス・グループ AG の株式（CSGN）はスイスおよび米国預託証券（CS）としてニューヨークで上場しています。日本語サイトは、<https://www.credit-suisse.com/jp/aboutus/ja/index.jsp>、グローバルサイトは、[www.credit-suisse.com](http://www.credit-suisse.com)。